

【1年次・後期〔講義〕2単位 必修】生活文化専攻、健康栄養専攻

《目的》キリスト教思想における人間観およびそれに関連付けられる歴史的、社会的問題について学ぶことを通して、人間の尊厳や人生の意義に関する考えを深め、人間らしく豊かに生きるための指針を得る。

《到達目標》1. キリスト教思想に関する基本的な知識、教養を習得し、それについて説明できるようになる。
2. 習得した知識、教養を活かして、人生および生活の課題に主体的に取り組めるようになる。

《評価基準》①定期試験〔筆記〕(80%)

②受講態度(20%)

《テキスト》『聖書—旧約聖書続編つき 新共同訳』（日本聖書協会）

《指定図書》なし。

《履修上の注意》なし。

《授業外学習》予習：指定文献、参考資料を読む。

復習：講義レジュメ（プリント配付）を再読し、理解を深める。

《授業計画》

1. 私は誰か—個としての人間および自由について
2. 人間とは何者か—人生の意義について
3. 宗教と人間(1)—宗教とは何か、宗教と生活、社会との関わり
4. 宗教と人間(2)—宗教と科学との関係
5. 旧約聖書/創造物語の世界観
6. 旧約聖書/創造物語の人間観
7. 「罪」について—旧約聖書・創世記3章「失樂園」の物語
8. イエス・キリストとは誰か、何をしたのか—神の救いの新しい契約
9. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(1)—罪人の友となったイエス
10. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(2)—父である神①
11. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(3)—父である神②
12. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(4)—隣人愛①
13. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(5)—隣人愛②
14. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(6)—差別の問題を考える
15. 神の国の福音（イエス・キリストの教え）(7)—赦しについて

【1 年次・後期〔講義〕 2 単位 選択】 全学

《目的》正しく善く生きること（倫理）を探究する手がかりとなる知識を学び、深く倫理の問題を考える思考態度や知性を身につける。

《到達目標》1. 基本的な倫理学理論・用語について理解し、説明できるようになる。
2. 物事の善悪についてに思考する習慣を身につけ、自己の生き方や行動に活かせるようになる。

《評価基準》①研究レポート(80%)
②受講態度(20%)

《テキスト》なし（テーマごとに講義レジュメ、プリント資料を配付する）。

《指定図書》なし。

《履修上の注意》研究レポートを作成するために、自分が選んだテーマに関する3冊以上の本を読むことが求められる。

《授業外学習》予習として指定文献を読む。講義10回目まで、復習として講義レジュメを読み直す。11回目以後、研究レポートの作成を進める。

《授業計画》

1. 倫理とは何か——人間にとっての善悪とは
2. 善悪の判断基準をめぐる諸説(1)——非認識説
3. 善悪の判断基準をめぐる諸説(2)——認識説
4. 自然道徳律——倫理の成立根拠に関する考察
5. 道徳と法律との関係——核兵器は国際法上合法か違法かの議論から学ぶ
6. I・カントの道徳哲学
7. M・シェーラーの価値人格主義
8. 良心に関する考察(1)——経験論か合理論か
9. 良心に関する考察(2)——良心を育む教育、道徳教育の可能性
10. 生命倫理(1)——生命観と生命の尊厳
11. 生命倫理(2)——初期の人命をめぐる問題（出生前診断と人工妊娠中絶）
12. 生命倫理(3)——終末期の人命をめぐる問題（尊厳死と安楽死）
13. 性をめぐる倫理(1)——人間にとっての性の意味と自己決定権
14. 性をめぐる倫理(2)——性と結婚の関係
15. 研究レポート作成指導